男鹿市告示第２２号

男鹿市産後ケア事業実施要綱の一部を改正する告示を次のように定める。

令和７年３月７日

男鹿市長　菅　原　広　二

男鹿市産後ケア事業実施要綱の一部を改正する告示

男鹿市産後ケア事業実施要綱（令和３年男鹿市告示第６２号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（実施報告及び請求） 第11条　（略） **（安全管理体制）** **第12条　委託先は、日頃から緊急時における対策について準備対策をするものとする。** **２　事故発生時においては、直ちに委託者に連絡をするとともに、事案等発生日の翌日までに事案等発生時報告様式（様式第８号）を用いて報告するものとする。** （その他） **第13条**　（略） 様式第７号（第11条関係）	（実施報告及び請求） 第11条　（略） （その他） **第12条**　（略） 様式第７号（第11条関係）

改正後	改正前

様式第８号（第12条関係）

様式第8号（第12条関係）

産後ケア事業　事案等発生時報告様式

第　報

□死亡事案　□重症・重傷（治療を30日以上を要する）事案
□その他（　　）

報告年月日　年　月　日

・＊は実施がある場合に記入してください。
・水色のセルはプルダウンより選択してください。

施設情報	施設名		施設設置者（社名・法人名・屋号等名等）		
	施設所在地		代表責任者		
	産後ケア事業管理者		利用者の総定員【設備】	名	
	実施事業形態（該当するものすべてに✓）	□ 短期入所（ショートステイ）型　□ 通所（デイサービス）型　□ 居宅訪問（アウトリーチ）型			
	＊直近の指導監査	年　月　日	緊急対応マニュアル等の有無		
	利用者居住市町村名		他受託市町村名		
利用者情報	母の年齢	歳	こどもの月齢	か月　日	こどもの性別
	多胎児の場合は✓				
	利用開始月日	月　日	利用予定期間	泊　日	利用形態
事案発生時の状況等	事案発生日時	年　月　日　時　分	受傷、発症または死亡した者	（その他の場合）	
	事案発生の経緯※別途任意様式での作成も可	※利用開始時からの健康状態、母子同室の有無を含む事案発生時の状況、事案発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。（第1報においては可能な範囲で記入し、第2報以降で追加等すること）			
	事案発生時の職員体制	産後ケア事業職員数　名　うち助産師・看護師・保健師　名			
	事案発生時該当者以外の利用者の人数	産婦　名、児　名、その他（　　）　名			
	施設で講じた再発防止策※別途任意様式での作成も可				
	病状・死因等（既往歴）	【診断名】	（負傷の場合）受傷部位		
		【病状（進行の程度）】			
		【既往症】	事案の転帰		
	特記事項				
市町村の対応等状況	事案把握日時	年　月　日　時	緊急対応マニュアル等の有無		
	当該施設の事業継続状況		（休止の場合）期間		
	講じた再発防止策				
都道府県の対応等	都道府県としての対応				

※市町村の対応経過については、別紙として任意様式で作成し、本報告と併せて提出をお願いします。

・報告は事案から利用者居住市町村→施設所在都道府県を経由して国に報告してください。施設所在市町村と委託元市町村が異なる場合は、当該市町村間で協議・連携しながら対応してください。
・第1報は速やかに報告してください。第1報は原則事案発生当日（遅くとも事案発生翌日）、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。
・母子同室の状況については、現時で記載できない部分については、市町村が適宜記載を補ってください。
・記載欄は適宜広げて記載してください。
・貴方の推測記載の状況報告を添付してください。
・母子同室の状況図（写真等を含む。）を添付してください。なお、ベビーベッド等の機具により事案が発生した場合には、当該機具のメーカー名、製品名、型式、規格等についても記載してください。
・報告内容については、国の研究事業等で分析を行い、個人が特定されない形で公表される可能性があります。

市町村担当者
所属・役職
連絡先（電話）
（E-mail）

備考　改正箇所は、下線が引かれた部分及び太枠で示した部分である

附　則

この告示は、令和７年４月１日から施行する。